

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名 (地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
福島県会津坂下町	若宮地区（金沢）	令和3年3月16日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	53.9 h a
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	38.8 h a
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	1.5 h a
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.5 h a
ii うち後継者について不明の農業者の耕作合計面積	0 h a
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	15.1 h a
(備考) ④は入り作面積を計上 ⇒ 契約更新時に本地区中心経営体への集積を促進していく	

2 対象地区の課題

【現状】

本地区における集落農業の現状は、9戸が自作での農業経営を行っており、栽培品目の主体は水稻であり、農地利用の状況は約28%が周辺集落からの入り作で、残りの約72%の殆どを自作農家9戸が担っている状況にある。

現在、地区内における認定農業者は3名であり、地区内耕地面積（入り作分除く）の約50%を担っており、今後の農業経営継続と規模拡大に意欲的である。

また、残りの耕地面積の約50%を担っている自作農家6戸においても、今後10年間は自作意向であるが、身体の衰えや機械設備の更新等のタイミングで、極力、地区内担い手に委託していきたい意向がある。

【課題】

○既存契約に基づく入り作面積割合が高い

○自作意向農家の約半数において後継者が不在であり、10年後以降も見据えた地区内担い手を明確化する必要がある

○現認定農業者は地区内を中心に集積を進めているが、今後も地区内の担い手として集積拡大を図っていく上で、管理作業等での労働力確保が最大の課題である

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

【目指す集落農業の方向性（将来像）】

「集落農地の殆どが中心経営体に集積され、委託農家も含めた集落住民全体で支え合い、集落完結型の集落農業」を目指す

【集落農業を担う中心経営体】

本地区においては、現自作農家9戸全てが自己の今後の農業経営継続に意欲的であり、後世への集落農業継承にも積極的かつ一体的に携わっていきたいと考えていることから、現自作農家9戸を本地区の中心経営体に位置付ける。

【課題解決に向けた取組み】

- 多面的機能支払交付金事業の円滑な実施、農業を核とした集落コミュニティを維持、発展させるため、既委託農家（地区外農家）が次期契約更新に本地区中心経営体に委託移行できるように地区内での話し合いや情報共有を継続して行う。
- 地区内の農地集積の方向性としては、自作農家9戸内で積極的に規模拡大を図りたい意向のある中心経営体を主体に、下記優先順位に基づき集積を推進していくこととする。
 - 優先順位① 武藤健一
 - 優先順位② 薄正喜
 - 優先順位③ 遠藤清隆
- 農地集積において、中心経営体1戸で受託が不可能な場合は、中心経営体9戸で協議を行い、分散して集積を行うことで労働力確保と集落完結型の集落農業を確立する。
- 中心経営体において懸念される労働力不足の課題については、中心経営体間での横断的連携体制等や、委託農家を含めた集落内での協力環境（臨時雇用等）を検討していく。
- 規模拡大に伴う労働力不足の課題解決と農作業の高効率化を図るため、農地中間管理事業を活用した農地の集約・団地化を検討していく。

【農地集積・集約の方向性】

本地区における農地利用は、以下のとおり利用促進を図っていく。

利用集積に当たっては全て農地中間管理機構を活用し、集約化・団地化を図っていく。

- ①水田（土地利用型作物圃場含む） ⇒ 優先順位に基づき中心経営体（3名）への利用集積を基本に進める
- ②畑地 ⇒ 当面、所有者での耕作維持を基本とし、園芸作物等による利活用を継続する

【中心経営体の役割】

- ①集落農業の継続発展のために必要となる機械・設備等の計画的な更新
- ②地区内離農者の雇用機会創設及び次世代後継者の研修等の受入れと育成

【農地委託農家の役割】

- ①経験・知識を活かした、中心経営体への作業補助等の労力提供
- ②集落における多面的機能支払交付金事業活動への継続参加

【プランの進捗管理等】

集落ぐるみでの集落農業継続を目指すため、区会や役員会、多面的機能支払交付金事業総会等、区住民が集まる機会において、プラン内容や進捗状況等について継続的に話し合いを行っていく

4 本地区における中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業経営範囲
認農		水稻・野菜	7.8 ha	水稻・野菜	12.9 ha	若宮地区
認農		水稻・土地利用型作物	3.8 ha	水稻・土地利用型作物	5.8 ha	若宮地区
認農		水稻	1.9 ha	水稻	3.9 ha	若宮地区
		水稻	2.4 ha	水稻	3.4 ha	若宮地区
		水稻	4.1 ha	水稻	5.1 ha	若宮地区
		水稻	3.1 ha	水稻	4.1 ha	若宮地区
		水稻	3.6 ha	水稻	4.6 ha	若宮地区
		水稻	2.5 ha	水稻	3.5 ha	若宮地区
		水稻	2.4 ha	水稻	3.4 ha	若宮地区